



秋の深まりとともに、白老町内を流れる河川でサケの遡上が始まった。いぶり中央漁協が、増殖用に捕獲する仕掛け・うらい付近では、河口から上流を

期を迎えて黒みを帯びた親魚が、海から河口を経て群れをなし二斉に回帰。虎杖浜のうらい付近では、魚群がひしめき合いながら水しぶきを上げている。

かけて本格化する見込みという。いぶり中央漁協では白老と虎杖浜、登別の秋サケ定置網漁船六隻が沿岸で出漁。白老では、今日三日、虎杖浜と登

# 秋の川に水しぶき

老

## 帰ってきたサケ

白

目指すサケの群れる光景が広がっている。町内の石山や虎杖浜などの河川では、産卵

それでも、「今年は別では六日に初水揚げし、十六日まで約七回帰率が良いとの予測もあるが、現在はまだ十、初日の白老の水海水温が高いため、漁揚げは、雌が二百三十模様は芳しくない」と五キロ、一キロ四百五十六漁業関係者。サケの回帰も例年に比べて遅れ、雌は四百三十六キロ、雄は四百三十七キロ、十九円で取引された。サケ